

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	ボランティア派遣や地域の実態把握等、社会福祉協議会との関係を構築していく	社会福祉協議会を通してボランティアを活用することにより、開かれた施設を目標に、利用者にハリのある生活を提供する。	行事などに楽器演奏、踊りなどのボランティアの方に来ていただき、楽しんでいただいたり、交流していただく。	6ヶ月
2	40	食後にできる方には下膳や台ふきなどしていただいたり、行事での食事作りはできているが、日常的な参加はできていない。食事その他の家事等、利用者と職員が共同で行えるよう努める。	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に食事の準備や片付けをする。	利用者が楽しんで食事作りに参加できるよう、皮むき、野菜のしょうやくなどできることをしていただく。	6ヶ月
3	18				6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。